

【活動のご報告】

秋祭り子どもみこし

10月13日(日)、透き通るような秋空の下で、子ども会主催の秋祭り子どもみこしがおこなわれました。前週は不安定な天気でしたが、この日はからりと晴れて、少し汗ばむくらいの陽気でした。

朝9時が近づくと、はっぴを来た子どもがおおよそ100名、付き添いの大人たち100名ほどが、続々と小口神社の境内に集まってきました。境内には3台のみこしが紅白の飾りを付けて用意され、子どもたちが物珍しそうに見て回っていました。

9時、子どもみこしの出発です。3台のみこしが中小口区内を、それぞれのルートで練り歩きます。小学校高学年が中心になってみこしをかつぎ、低学年や未就学の子どもたちはみこしにつながる紅白のひもを持ったり、保護者に手を引かれたりして、みこしとともに歩きました。

途中で水分補給などの休憩をはさんで、1時間半ほどの予定のコースをみんなで歩きました。お菓子やジュースに元気づけられて、力いっぱい「わっしょい！」と声を張り上げました。大口北防災センター駐車場で3台のみこしは獅子保存会のお神楽のみこしと合流して、小口神社に帰ってきました。

日曜日の朝ながらよく車が通る道などもありましたが、スタッフやボランティアの交通整理や、運転手の厚意によるう回などのご協力があり、無事事故もなく終えることができました。最後はお菓子の袋をもらって、子どもたちはほくほく顔で家に帰り着いたことでしょう。

今年も子ども会・氏子をはじめ、関係者は夏祭りが終わった直後から準備を始められ、大変な苦労をされたと思います。本当にお疲れさまでした。 文責・事務員 水野

